



# あかまつ



令和8年度 6月号  
令和8年6月15日(月)  
校長 木下 英典



教育目標  
○真の知恵  
○善い行い  
○美しい心

## 「それぞれの集大成を未来の糧に」

副校長 宮野 隆司

二中ホームページQRコード学校情報を掲載中

現在、本校の部活動は、3年生にとっての集大成となる最後の大会が開催され、激戦を終えて惜しくも引退が決まった部もあれば、今まさに決戦の場に立っている部もあります。

そんな大切な時期を過ごしている、または過ごした皆さんに、江戸時代の高名な剣術家であった松浦静山(まつら せいざん)が著書『剣談』の中に残した言葉を贈ります。

### 「勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし」

これは、「負けるときには何の理由もなく負けるわけではなく、必ず明確な原因がある。一方で、勝ったときには自分でも気づかない幸運や相手のミスに救われただけの『不思議な勝ち』がある」という意味です。この言葉の本質は、勝敗そのものよりも、その「過程」をどう捉えるかにあります。負けるときには、必ずどこかに隙や焦り、準備不足といった要素が潜んでいます。しかし、それは裏を返せば、徹底的に「負ける要素」を排除し、基本に忠実に積み上げてきたものを守り抜けば、たとえ緊張していても、勝利を手繰り寄せられるということでもあります。



#### ■大会中の皆さんへ：最後まで「丁寧に」

今まさに試合に挑んでいる皆さん。勝負は非情に分かれますが、本当の価値はスコアボードの数字だけでは決まりません。もし思い通りにいかない局面があっても、焦らず「負ける要素」を一つずつ消していくように、泥臭く、丁寧にプレーしてください。自分を信じ、仲間を信じ、最後の1秒まで戦い抜くことを期待しています。

#### ■引退を迎えた皆さんへ：悔しさを「財産」に

悔しい結果に終わり、引退が決まった皆さん。たとえ敗れたとしても、なぜ負けたのかを真摯に見つめ直すことができれば、それは次の人生のステージへ進むための、かけがえのない「財産」へと変わります。これまで仲間と共に流した汗や、乗り越えてきた厳しい練習、顧問の先生や部活動指導員・家族への感謝、そのすべてが皆さんの「財産」です。

#### ■1・2年生の皆さんへ：伝統を「受け継ぐ」

1・2年生の皆さんは、先輩たちがすべてを懸けて戦う真剣な背中、そして最後まで諦めずに3年間の集大成を示そうとする姿を、しっかりと目に焼き付けてください。その伝統と強い思いを受け継ぎ、これからの部活動をさらに素晴らしいものへとつなげていってくださることを願っています。



全力を尽くす皆さんの大健闘を、心から応援しています。

## ◆出会いと成長の3週間 ～教育実習を終えて～

5月18日からの3週間、本校に4名の実習生が教育実習を行いました。国語、社会、英語、理科の授業実践に加え、休み時間には生徒たちと熱心に語り合うなど、校内に爽やかな風を吹き込んでくれました。5月の運動会練習では、学年リレーに教員チームも参戦。結果は最下位でしたが、生徒たちの歓声の中で一緒にバトンを繋いだことは、実習生にとっても良い思い出となったはず。6月の研究授業では、緊張感の中にも笑顔を見せ、大学での学びを現場で立派に発揮していました。お別れの日に流した生徒たちの涙は、この3週間がいかに温かく、充実した時間であったかを物語っています。



### ◇実習生からのメッセージ

☆山口優花先生

勉強や部活動、学校行事など、中学校生活は毎日が盛りだくさんです。大変なこともあるかもしれませんが、その分たくさん思い出を作ることができる貴重な時間でもあります。仲間との時間を大切にしながら、ぜひ充実した毎日を過ごしてください。また、日々の生活の中で「なんでだろう?」と疑問に思う気持ちを大切にしてほしいです。少し調べてみるだけでも、意外な発見や面白いことに出会えますよ。

☆佐藤哲史先生

研究授業や日々の皆さんとの関わりを通して、教師という仕事の難しさと魅力を学ぶことができました。今回の経験を糧に、これからも生徒の心に寄り添える教師を目指して努力を続けていきます。授業、部活、運動会、そして放課後の活動。皆さん一人ひとりが本当に輝いていました。またいつか会いましょう。3週間、本当にありがとうございました。

☆小林浩乃先生

二中学生のみなさん、3週間ありがとうございました!多くの人が、廊下を歩いている時に気持ちのよい挨拶をくれました。当たり前のことかもしれませんが、その「当たり前」を自然に実践できるみなさんは、とても立派だと感じました。授業中も真面目に取り組む人が多く、二中には素晴らしい生徒がたくさんいるなど実感しました。これからも勉強や部活など、いろいろなことに励んでください。ずっと応援しています!

☆中村那南先生

三鷹二中の皆様、3週間温かく迎え入れてくださりありがとうございました。実習中、先生方の温かいご指導に応え、集中する時は集中し、運動会には全力で取り組む皆さんのメリハリある姿に多くのことを学びました。生徒の皆さんには、周囲や自分自身を大切にしながら、失敗を恐れず挑戦し続けてほしいです。この貴重な経験と宝物の日々を胸に、皆様の毎日が笑顔あふれるものとなるよう、ずっと応援しています。

## ◆笑顔と声援があふれた一日 ～運動会その1～

5月23日(土)に行われた運動会は、生徒たちの笑顔と声援があふれる一日となりました。全員リレーでは、仲間とバトンをつなぐ喜びや悔しさを共有し、学級の団結が一層深まりました。学年種目では、1年生は力を合わせた綱引き、2年生は息をそろえる4人5脚、3年生は迫力あるムカデ競走と、それぞれの学年らしさが光りました。「みんなでジャンプ」では、息を合わせて跳ぶ難しさと楽しさを味わいながら、どのクラスも記録更新を目指して挑戦しました。また、学級選抜リレーでは、代表として走る生徒の力強い走り大きな拍手が送られました。生徒一人ひとりが全力を出し切り、仲間と支え合う姿が印象的な、心温まる運動会となりました。



## ◆新プログラム「応援合戦」で深まった絆 ～運動会その2～

今年の運動会では、午後の部のスタートを飾る新プログラムとして「応援合戦」が加わりました。各クラスから集まった総勢 34 名の団員は、学年や学級の枠を越えて応援団を結成し、熱心に練習を重ねて本番に臨みました。当日は、大きな旗を振り、全身を使って力強いエールを披露。会場全体が瞬く間に一体感に包まれました。応援団の掛け声に応じて各クラスからも大きな声が上ががり、生徒たちの強い結びつきが感じられる見ごたえのある時間となりました。この新たな挑戦を通して、生徒たちの団結力や仲間を思いやる心が一層深まったと感じています。今後の成長につながる、大変貴重な経験となりました。

保護者の皆様、これまでの温かいご協力と、当日の熱いご声援に心より感謝申し上げます。



## ◆すべての生徒が輝く授業を目指して～(二中の研究)

二中では、すべての生徒が安心して学び、それぞれの持てる力を最大限に発揮できる授業づくりを目指し、UDL(学びのユニバーサルデザイン)に関する校内研修を実施しました。講師には東京学芸大学教職大学院の川合一紀先生をお招きし、「学び方や得意なことは一人ひとり異なる」という考え方をもとに、生徒が主体的に学習へ参加できる授業の工夫について学びました。

研修の冒頭で示されたのは、「アンラーン(学びほぐし)」という言葉です。これは、私たちがこれまで持っていた「一斉授業」という固定観念をいったん横に置き、新しい視点で授業を再構成することの大切さを意味します。

UDL とは、障がいの有無にかかわらず、最初から多様な学習者がいることを前提に、学びのバリア(障壁)を取り除いていくデザイン哲学です。研修では、以下の「UDL の三原則」に基づき、具体的な工夫のポイントを確認しました。



### ① 「何を学ぶのか(提示)」の工夫

教員の説明(音声)だけでなく、視覚化や ICT を活用し、情報を多角的に提示する。

### ② 「どのように学ぶのか(表現)」の工夫

書くことが苦手な生徒にはキーボード入力を認めるなど、生徒が自分に合った表現方法を選択できるようにする。

### ③ 「なぜ学ぶのか(意欲)」の工夫

生徒が主体的に参加し、学習の進度や方法を自ら調整できるよう、多様な選択肢(オプション)を準備する。

## 「自分に合った学び」が、互いを尊重する心へ

これまでの「個に応じた指導」は教師が生徒に合わせるものでしたが、これからの「個別最適な学び」は、生徒自身が自分にとって最適な学び方を判断し、調整していくことを目指します。興味深いことに、一人ひとりの学び方が違うことが当たり前になると、生徒同士が「あの子は丁寧に時間をかけているんだな」と、自然に違いを認め合えるようになります。UDL の実践は、単なるスキルの習得にとどまらず、多様な他者を尊重する「協働的な学び」へとつながっていきます。

本年度は、この UDL に関する研修をさらに2回予定しています。今回の研修で得た知見を活かし、教員が実際に UDL の視点を取り入れた研究授業を実施し、全教員で授業のあり方を検討していく予定です。単なる知識の習得にとどまらず、生徒が「自分にとって最適な学び方」を自分で判断し、調整していける力を育むために、全教職員が一丸となって「わかる」「できる」を実感できる学校づくりを進めてまいります。

## ◆7月の予定表

日曜	給食			行 事 等	カット等	SC	清掃	部活	
	1	2	3						
1	水	○	×	○	職場体験(2)			×	2×
2	木	○	×	○	職場体験(2)終				2△
3	金	○	○	○	交通安全講話⑥,安全指導	①	○	×	
4	土								
5	日								
6	月	○	○	○					
7	火	○	○	○	避難訓練(地区別集会),昼学活・清掃無し		○	×	
8	水	○	○	○	ダンスクラブ発表会15:30-体育館			×	×
9	木	○	○	○	租税教室(3)⑥				
10	金	○	○	○	漢検16-,学園子ども熟議15:30-16:15,3校にここ交流会		○		
11	土								
12	日								
13	月	○	○	○	生徒会朝礼				
14	火	○	○	○			○		
15	水	○	○	○	修学旅行説明会(3),前期委員会4			×	×
16	木	○	○	○	大掃除⑤	③④カット5時間			
17	金	○	○	○	終業式,学年時間割②-④	午後カット	○	×	13:30-2h
18	土								
19	日								
20	月				海の日				
21	火				夏季休業日始		○		
22	水				三者面談始,Port進路学習会AM				
23	木								
24	金								
25	土								
26	日								
27	月						○		
28	火				三者面談終				
29	水								
30	木								
31	金								

## ☆二中学生の活躍☆

☆地域合同部活動(空手)	町田泉実	KJL ガジェット・ジュニア&U-21 ナショナルチーム選考大会 ガジェット女子組手 第3位
☆卓球部	加藤 凜	東京都北多摩南地区卓球連盟 女子シングルス 第1位
☆女子ソフトテニスボール部	小寺美希 沖守陽菜	第9ブロック中学校ソフトテニス選手権大会第3位